私の町政執行の基本姿勢は、「将来にわたって町民が夢と希望をもって、安心して暮らせる地域社会と活気あふれるまち」であり、その実現に向け町民・議会・行政が互いに知恵と力を合わせ、課題解決に向かって進むことが益々重要なことから、議員ならびに町民皆さまの一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

以下、第2期八雲町総合計画の基本目標ごとに基本的な考え方と具体的な方針を申し上げます。

1. 八雲の自然と調和する安心・安全な都市基盤整備

(1) 土地利用の推進

将来的な八雲市街地の整備方針となる「都市計画マスタープラン」の改訂に基づき、役場新庁舎整備に向けた用途地域の変更や未整備となっている都市計画道路の整備に向けた事務作業を進めていくとともに、今後益々拍車がかかる少子高齢化や人口減少に対し「立地適正化計画」に基づいた持続可能なコンパクトなまちづくりを推進し、行政、医療、福祉、商業などのサービス機能の維持向上を図ってまいります。

新役場庁舎等の整備に向けて、令和4年度から基本設計に取り組んでおりますが、令和5年度は、庁舎等改築実施設計のほか、旧国立病院機構八雲病院の建物解体実施設計および一部の宿舎解体工事を予定しており、計画的な事業の推進に努めてまいります。

熊石地域では、老朽化が進んだ熊石総合センターの大規模改修工事を実施し、建物全体の長寿命化を図ってまいります。

(2) 自然環境の保全

豊かな自然を保つため環境保護と公害防止に努め、「八雲町地球温暖化対策実行計画」に基づく進行管理により、町自らが実施する事務事業における省エネルギーの取り組みを推進してまいります。

ヒグマやエゾシカなどの有害鳥獣対策については、引き続き、猟友会や鳥獣被害防止対策協議会等の関係機関・団体との連携のもと、総合的かつ安全性を重視した対策を行い、有害鳥獣の個体数調整と農林業被害の軽減に努めるとともに、電気柵の設置など農作物被害防止策への支援やハンター後継者の育成に対する支援を実施してまいります。

(3) 市街地および集落の環境整備

八雲市街地における街路整備については、道道である3・4・2出雲通、3・4・7本町大通の整備事業が進んでおり、早期完成に向けた要請活動を行っていくとともに、街路整備工事に伴い支障となる既存の雨水排水施設、水道・下水道施設についても、順次、移設整備を進めてまいります。

町営住宅については、「公営住宅等長寿命化計画」に基づいた建替工事が一段落し、令和5年度については、出雲町D団地9棟48戸の老朽化した住宅の解体を行ってまいります。

空家等対策については、保安上や衛生上において支障をきたす管理不全な特定空家に加え、一般空家についても空家の防止・解消に向けて除却・撤去の支援を行っていくとともに、空家の利活用を促進するため、空家改修に対する再生支援も引き続き実施し、町民の安全で安心な居住環境の形成を図ってまいります。

航空自衛隊八雲分屯基地は、飛行場を有し津波浸水区域外に所在するため、大規模災害時等において重要な活動拠点となり得ることから、滑走路の修繕をはじめ災害時の支援活動の拠点機能の整備充実と合わせ、広大な敷地を利用した各種訓練での活用等について関係団体とともに要請してまいります。

(4) 道路網の整備

熊石八雲間を結ぶ国道277号については、地域住民の暮らしと道央圏との物流に欠かせない重要な路線でありますが、急カーブや急こう配が多く、事故や災害等でたびたび通行止めになるなど支障をきたしていることから、今後の北海道新幹線新八雲(仮称)駅の開業を見据え、一層の地域経済の発展と安定的な物流・人流の確保に向け、早期整備着手の要請について積極的に取り組んでまいります。

国道229号乙部町館浦地区の岩盤崩落による新ルートの整備工事については、最長10年後の完成計画であり、長期化で熊石地域住民には不便が続くため、早期完成が図られるよう、関係機関へ引き続き要請を行ってまいります。

道道については、特に新八雲(仮称)駅から道道八雲北檜山線へのアクセス道路および八雲市街地から新駅までの路線整備、また、管内各路線の早期整備に向けて関係機関への要請を行ってまいります。

町道については、劣化・損傷している道路の計画的な改良整備を進めるとともに、橋梁についても「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、計画的・効率的な修繕を実施していくことで施設の延命化を図るとともに、昨年の大雨により被害を受けた建岩橋の撤去を進め、将来にわたり持続可能な道路の維持管理に向けてコストの縮減を図りながら、安心で安全な道路交通の確保に努めてまいります。